

新国立に県産材使用を 文科相「可能性ある」

知事ら
要望書

馳文科相(左から4人目)に要望書を手渡す福田知事(同3人目) 118日午前、文科省



福田富一知事は18日、文部科学省を訪れ、新国立競技場に県産木材と宇都宮市産の大谷石、那須町産の芦野石の使用を求める要望書を馳浩文科相に提出した。馳氏は「(新国立競技場は)

自然との調査が一つのテーマなので、十分可能性のある素材だ」と前向きに検討する意向を示した。
佐藤栄一宇都宮市長と高久勝那須町長、自民党の県選出国会議員らが同行し

た。

福田知事らは2014年に人工的に乾燥させて製品化する木材の出荷量が日本一になったことをPR。屋根や内装への採用を求めた。旧国立競技場で入場口などに大谷石が施された実績や、加工しやすい芦野石の特長などを説明した。

新国立競技場は、県内でも多数の建築物を手掛けた建築家、隈研吾氏がデザインした。いずれの素材も隈氏の建築物に採用された実績がある。馳氏は、大谷石と芦野石の写真を見ながら「隈さんが好きそうな石ですね」と応じていた。

(須藤健人)